

# FAQ

## **Internet Security 2013**

## Contents

<b>Windows</b> のバージョンを確認するにはどうすれば良いですか?.....	<b>5</b>
コンピュータで Windows XP の 64 ビット版と 32 ビット版のどちらを実行しているかの決定.....	5
コンピュータが製品のシステム要件を満たしているかどこで確認できますか? .....	<b>7</b>
競合するセキュリティ製品はどうすれば削除できますか?.....	<b>8</b>
セキュリティ製品を手動で削除する .....	8
<b>AVG 6</b> をアンインストールするには.....	9
<b>PC-cillin</b> をアンインストールするには.....	9
<b>Ad-Aware</b> をアンインストールするには .....	9
<b>McAfee</b> をアンインストールするには .....	9
<b>Norton</b> をアンインストールするには .....	9
詳細.....	10
<b>F-Secure</b> はなぜ製品のダウンロードとインストールにネットワーク インストーラを使用していますか? .....	<b>10</b>
製品をインストールするにはどうすれば良いですか?.....	<b>10</b>
セキュリティ製品をインストールする .....	11
製品をアンインストールするにはどうすれば良いですか?.....	<b>16</b>
<b>F-Secure</b> インターネットセキュリティ/アンチウイルス <b>2013/2012/2011/2010</b> を <b>Windows XP</b> からアンインストールするには.....	16
<b>F-Secure</b> インターネットセキュリティ/アンチウイルス <b>2013/2012/2011/2010</b> を <b>Windows Vista</b> からアンインストールするには.....	16
<b>F-Secure</b> インターネットセキュリティ/アンチウイルス <b>2013/2012/2011/2010</b> を <b>Windows 7</b> からアンインストールするには.....	17
評価版から正規ライセンス版にアップグレードできますか?.....	<b>17</b>

<b>F-Secure</b> アンチウイルスを <b>F-Secure</b> インターネットセキュリティにアップグレードするにはどうすれば良いですか? .....	<b>18</b>
ライセンス キーコードが見つかりません。 .....	<b>18</b>
ファイアウォールはどうなったのですか? .....	<b>18</b>
ファイアウォールの設定でアプリケーションを許可するにはどうすれば良いですか?.....	<b>19</b>
ディープガードがブロックしたアプリケーションを許可するにはどうすれば良いですか? .....	<b>19</b>
特定のファイルやフォルダをスキャンの対象から除外するにはどうすれば良いですか?.....	<b>20</b>
アプリケーションをスキャンから除外するにはどうすれば良いですか? .....	<b>21</b>
ネットワーク トラフィックをすべて一時的に許可することは可能ですか? .....	<b>22</b>
危険なファイルのダウンロードを阻止するにはどうすれば良いですか? .....	<b>23</b>
<b>Web</b> サイトの評価を非表示にするにはどうすれば良いですか?.....	<b>23</b>
ごみ箱にあるマルウェアを駆除するにはどうすれば良いですか?.....	<b>24</b>
完全スキャンを <b>2</b> 回実行しました。 <b>1</b> 回目と比べ、 <b>2</b> 回目のスキャンのほうが早く終わりました。コンピュータは完全にスキャンされたのですか? .....	<b>24</b>
ハードドライブは毎日手動でスキャンするべきでしょうか? .....	<b>25</b>
スケジュール スキャンを設定する .....	<b>25</b>
システム ボリュームの情報フォルダまたはシステム復元フォルダを駆除するにはどうすれば良いですか?.....	<b>26</b>

<b>F-Secure</b> にサンプルを提出するにはどうすれば良いですか?.....	<b>29</b>
サンプル送信に関連するタスク .....	29
パターンファイルが古いと表示されます。どうすれば良いですか? .....	<b>30</b>
最新の更新を受信しているかどうかどうすれば確認できますか?.....	<b>30</b>
最新の更新を確認する .....	31
更新を手動で確認する .....	32
<b>PC</b> の保護状態、また、自動更新が有効になっているかどうかどうすれば 確認できますか? .....	<b>33</b>
ランチャーとはなんですか? .....	<b>34</b>
オンラインセーフティ ( <b>Online Safety</b> ) とはなんですか? .....	<b>35</b>
コンピュータセキュリティ ( <b>Computer Security</b> ) とはなんですか? .....	<b>36</b>

## インストールする前に

### Windows のバージョンを確認するにはどうすれば良いですか?

Windows のバージョンは「システム プロパティ」ウィンドウから確認できます。

Microsoft Windows のシステム プロパティを確認するには

1. **[スタート]** をクリックします。
2. **[コントロールパネル]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します。
  - **Windows 7** の場合
    1. **[システムとセキュリティ]** を選択します。
    2. **[システム]** をクリックします。
  - **Windows Vista** の場合
    1. 「パフォーマンスとメンテナンス」カテゴリを選択します。  
参考: PC の設定によってこの手順は不要場合があります。
    2. **[システム]** をクリックします。「システムのプロパティ」ウィンドウが開きます。
  - **Windows XP** の場合
    1. 「パフォーマンスとメンテナンス」カテゴリを選択します。  
参考: PC の設定によってこの手順は不要場合があります。
    2. **[システム]** をダブルクリックします。「システムのプロパティ」ウィンドウが開きます。  
参考: Windows XP の 64 ビット版と 32 ビット版のどちらを使用しているかを判断するには [ここ](#) をクリックしてください。

PC のオペレーティング システム、プロセッサおよびメモリ情報を表示する画面が開きます。

コンピュータで Windows XP の 64 ビット版と 32 ビット版のどちらを実行しているかの決定

コンピュータで **Windows XP** の **64** ビット版と **32** ビット版のどちらを実行しているかを決定する方法はいくつかあります。

1. **Windows** キーボードを使用している場合は、**Windows** キー + **Pause/Break** キーを押し、**[システムのプロパティ]** ダイアログボックスを表示します。システム情報で **32** ビット版と **64** ビット版のどちらについても示されていない場合は、システムは **32** ビット版の **Windows XP** を実行しています。
2. システムのプロパティを確認するために **[マイ コンピュータ]** を開きます。
  - a. **[スタート]** をクリックします。
  - b. **[マイ コンピュータ]** を右クリックして **[プロパティ]** を選択します。「システムのプロパティ」ウィンドウが開きます。
  - c. 「全般」タブで、**[コンピュータ]** の下にある最初の行を確認します。
    - **64** ビット版の **Windows XP** では、**[Itanium]** または **[Itanium 2]** が表示されます。
    - **32** ビットの **Windows XP** の場合、他の値が表示されます。
3. **[Winmsd.exe]** ツールを開いて、システムやプロセッサの情報を確認します。
  - a. **[スタート]** > **[ファイル名を指定して実行]** の順に選択します。
  - b. **[開く]** フィールドに「**winmsd.exe**」と入力し、**[OK]** をクリックします。
  - c. 次のいずれかを実行します。
    - 右側のペインにある「項目」の下から「システムの種類」を見つけます。次の値を確認します。
      - **64** ビットの **Windows XP** の場合、「**Itanium-ベース PC**」と表示されます。
      - **32** ビットの **Windows XP** の場合、「**X86-ベース PC**」と表示されます。
    - 右側のペインにある「項目」の下から「プロセッサ」を見つけます。次の値を確認します。
      - **64** ビットの **Windows XP** の場合、値が「**ia64**」から始まります。
      - **32** ビットの **Windows XP** の場合、値が「**x86**」から始まります。
4. 診断ツールを利用してバージョンを確認します。
  - a. **[スタート]** > **[ファイル名を指定して実行]** の順に選択します。
  - b. **[開く]** フィールドに「**dxdiag**」と入力し、**[OK]** をクリックします。

参考: ドライバを認証するためのダイアログボックスが表示される場合、**[いいえ]** をクリックします。「**DirectX 診断ツール**」ウィンドウが開きます。

- c. **[システム情報]**の中にある**[オペレーティングシステム]**を見つけます。**64**ビット版**XP**では、この値は、たとえば「**Microsoft Windows XP 64-bit Edition**」のようになります。
- d. **[システム情報]**の中にある**[プロセッサ]**を見つけます。**64**ビット版**XP**では、この値は、**[Itanium]**または**[Itanium2]**のどちらかになります。

コンピュータが製品のシステム要件を満たしているかどこで確認できますか?

コンピュータが次の要件を満たしている必要があります。

対応オペレーティングシステム

- **Windows 8 (32/64 ビット):** 全エディション
- **Windows 7 (32/64 ビット):** 全エディション
- **Windows Vista (32/64 ビット):** 全エディション、**Service Pack 2**以降
- **Windows XP (32 ビット):** **Home/Professional**、**Service Pack 3**以降

**Microsoft Windows 8, Windows 7、Windows Vista** の推奨要件

- プロセッサ: **Intel Pentium 4 2 GHz** 以上
- メモリ: **1 GB** 以上
- ディスク容量: **800 MB** の空き容量 (アンチウイルスのみ場合、**500 MB**)
- ディスプレイ: **16** ビット以上 (**65000** 色)
- インターネットの接続環境: ライセンスの認証とアップデートの受信を行うためにインターネットの接続環境が必要

**Microsoft Windows XP** の推奨要件

- プロセッサ: **Intel Pentium III 1 GHz** 以上
- メモリ: **512 MB** 以上
- オペレーティングシステム: **Microsoft Windows XP、Service Pack 3**
- ディスク容量: **800 MB** の空き容量 (アンチウイルスのみ場合、**500 MB**)
- ディスプレイ: **16** ビット以上 (**65000** 色)
- インターネットの接続環境: ライセンスの認証とアップデートの受信を行うためにインターネットの接続環境が必要

## 対応 Web ブラウザ

- **Internet Explorer 7/8 (Windows XP)、Internet Explorer 8/9 (Windows Vista & Windows 7、32/64 ビット)、Internet Explorer 10 (Windows 8、32/64 ビット)**
- **Mozilla Firefox (最新のバージョン)**
- **Google Chrome (最新のバージョン)**

## 競合するセキュリティ製品はどうすれば削除できますか?

セキュリティ製品は最良のものを1つ持っていれば十分です。セキュリティ製品はファイルを開いてスキャンするため、他のセキュリティ製品が同時に同じファイルを開いてしまうといずれかのアンチウイルス製品がファイルの処理が開放されるまで待たなければなりません。これにより、プログラムが正常に起動できない問題などが発生することもあります。

インストール中に主要ベンダーのセキュリティとファイアウォール製品が自動的にアンインストールされます。アンインストールできない製品は手動でアンインストールする必要があります。インストールを行う前に競合製品をアンインストールすることもできます。

### セキュリティ製品を手動で削除する

競合するセキュリティ製品をお分かりの場合、次の方法で製品をアンインストールできることがあります。

1. **【スタート】>【コントロールパネル】**をクリックします。
2. **【プログラムの追加と削除】**をダブルクリックします。
3. 一覧に該当する製品がある場合、製品をアンインストールします。

製品をアンインストールできない場合、製品のサポートにお問い合わせください。

以下に主要セキュリティ製品のアンインストール方法を説明します。

- [AVG 6 をアンインストールする](#)
- [PC-cillin をアンインストールする](#)
- [Ad-Aware をアンインストールする](#)
- [McAfee をアンインストールする](#)

- [Norton をアンインストールする](#)

#### AVG 6 をアンインストールするには

1. [スタート] > [ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。
2. 「C:\Program Files\Grisoft\AVG6\Setup.exe /uninstall」を入力して [OK] をクリックします。
3. **Virus Vault** の実行を確認されたら [いいえ] をクリックします。
4. アンインストールを続行するか確認されたら [はい] をクリックします。
5. [コンピュータを再起動する] を選択して [OK] をクリックします。

#### PC-cillin をアンインストールするには

**Trend Micro** の製品は、**Trend Micro** 診断ツールキットを使用してアンインストールできます。

#### Ad-Aware をアンインストールするには

1. [マイ コンピュータ] をクリックします。
2. C:\Program Files\Lavasoft\Ad-Aware を開きます。
3. **unregaaw.exe** を実行します。
4. 「Ad-Aware」フォルダを完全に削除します。
5. **Lavasoft Ad-Aware** のスタートメニューにあるリンクとデスクトップにある **Ad-Aware** のアイコンを削除します。
6. C:\Documents and Settings\[User Name]\Application Data\Lavasoft\ を開きます。
7. 「Lavasoft」フォルダを完全に削除します。
8. ごみ箱を空にします。
9. コンピュータを再起動します。

#### McAfee をアンインストールするには

マカフィーの個人向け製品専用削除ツール (**MCPR.exe**) を使用してマカフィーの製品をアンインストールします。このツールはインターネットからダウンロードできます。

#### Norton をアンインストールするには

**Norton** のセキュリティ製品はノートン削除ツールを使用して削除します。

## 詳細

**F-Secure** の製品をインストールした後にコンピュータが正常に起動しない場合、次の手順を行なってください。

1. コンピュータをセーフモードで起動します。詳細については、『**2110**-インストール後にコンピュータの動作が止まった場合』を参照してください。
2. **F-Secure** の製品を削除します。
3. コンピュータを再起動します。
4. **FSDiag** ファイルを作成します。詳細については、『**FSDIAG** ファイルの作成』を参照してください。
5. **FSDiag** ファイルを **F-Secure** のサポートに送ります。

## インストール

**F-Secure** はなぜ製品のダウンロードとインストールにネットワーク インストーラを使用していますか?

次の理由でネットワーク インストーラが使用されます。

- ネットワーク インストーラのファイルサイズが小さいため、インストーラ本体のダウンロードがすぐに完了します。また、ネットワーク インストーラが追加コンポーネントのダウンロードを行うため、インストールがより安全に進行します。
- 必要なコンポーネントのみダウンロードおよびインストールされるため、旧バージョンより早くインストールが完了します。
- 最新のバージョンが常にインストールされます。

製品をインストールするにはどうすれば良いですか?

セキュリティ製品をインストールする前に次が必要となります。

- 製品の **CD** またはダウンロードした製品のインストーラ  
( [http://www.f-secure.com/ja/web/home\\_jp/support/installers](http://www.f-secure.com/ja/web/home_jp/support/installers) )
- 有効なライセンス キーコード
- インターネットの接続環境

インストールを行うには管理者権限を持つユーザでログインしている必要があります。

参考: コンピュータに他のアンチウイルスまたはファイアウォール製品がインストールされている場合、本製品をインストールすることはできません。

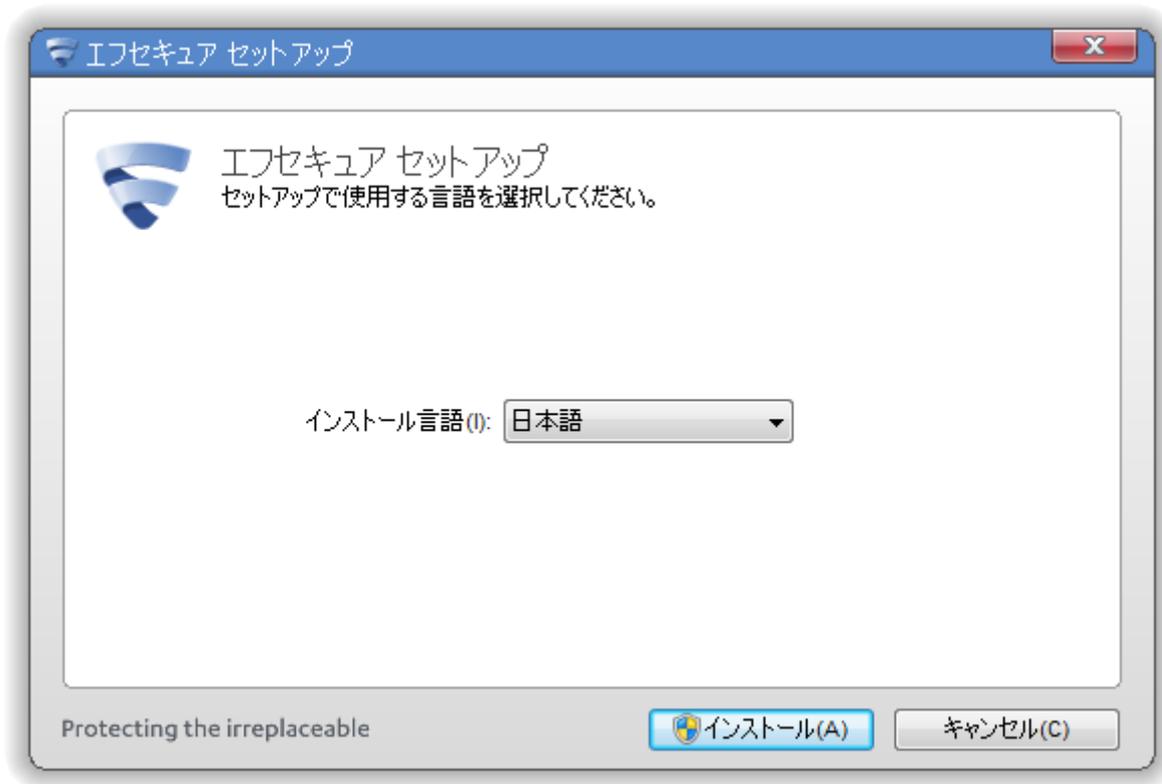
インストール中に主要ベンダーのセキュリティとファイアウォール製品が自動的にアンインストールされます。アンインストールできない製品は手動でアンインストールする必要があります。詳細については、「[競合するセキュリティ製品はどうすれば削除できますか?](#)」を参照してください。

## セキュリティ製品をインストールする

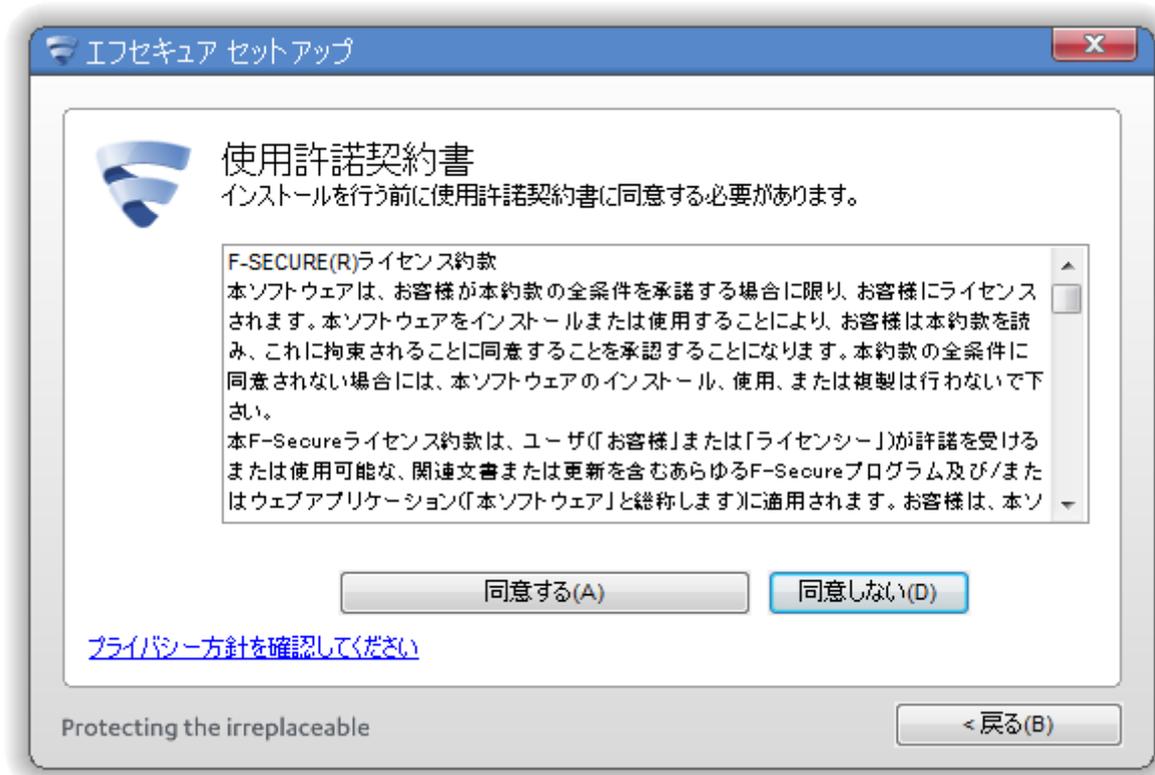
製品をインストールには

1. 次のいずれかを実行します。
  - a. 製品をインターネットから購入した場合、ダウンロードリンクとライセンス キーコードを記載したメールが提供されます。インストーラをダウンロードしたら、インストーラ (**.exe**) をダブルクリックしてインストールを開始してください。
  - b. 製品 **CD** からインストールを行う場合、**CD** をコンピュータに挿入した時点でインストールが自動的に立ち上がります。立ち上がらない場合、**CD** のルートフォルダを開き、**autorun.exe** またはインストーラ (**.exe**) をダブルクリックしてください。ライセンス キーコードは製品の箱に含まれています。

インストーラが立ち上がります。



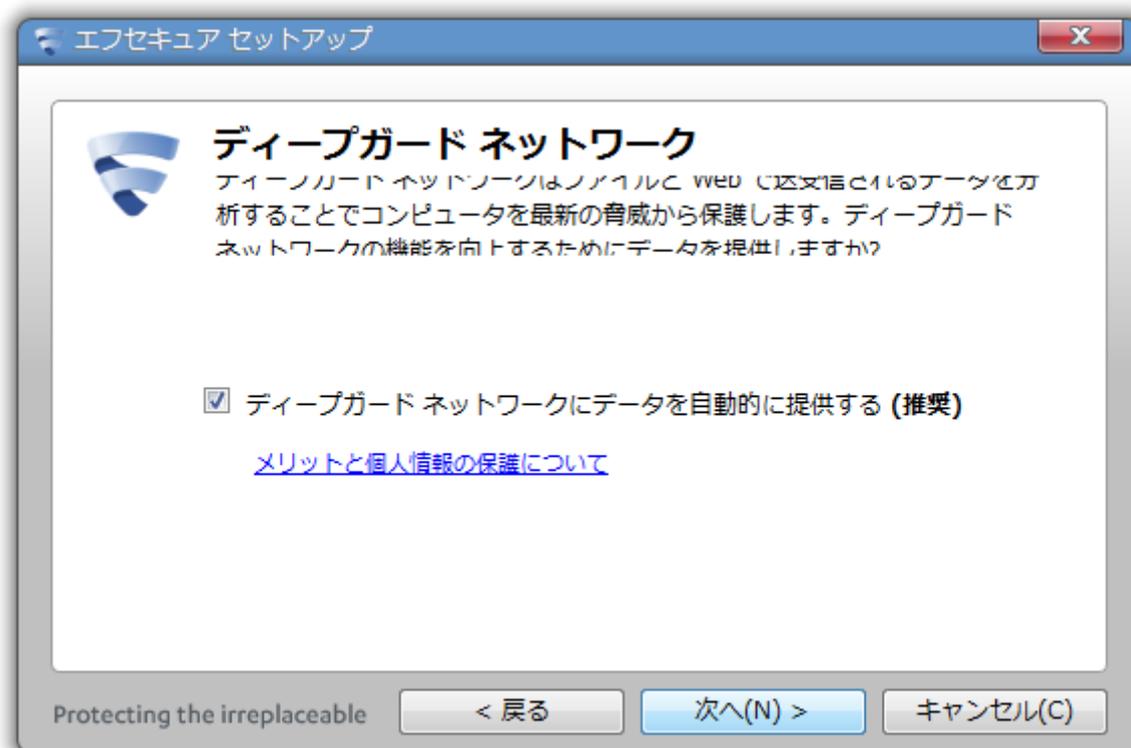
2. 言語を選択して **【インストール】** をクリックします。使用許諾契約書が表示されます。



3. 使用許諾契約書に同意する場合、【同意する】ボタンをクリックします。
4. ファイルのダウンロードが開始します。ダウンロードが完了するまで数分かかることがあります。ダウンロードが完了したら、「自動インストール」ウィンドウが表示されます。



5. **[次へ]** をクリックします。「ディープガードネットワーク」ウィンドウが表示されます。



6. 本製品の検出率を向上するために匿名データを提供する場合、**【次へ】**をクリックします。提供しない場合、チェックを外してから **【次へ】** をクリックしてください。インストールウィザードが競合製品の検出/削除、コンピュータセキュリティとオンラインセーフティのインストールに進みます。

インストールが完了します。

参考: **Windows XP** を使用している場合、インストールを完了するために再起動が必要となります。

ユーザインターフェースを表示するために画面の右下にある **F-Secure** のロゴをクリックします。ランチャーが表示されます。



ランチャーから **F-Secure** の各アプリケーションを起動できます。アプリケーションのアイコンをクリックすると該当するアプリケーションが起動します。ランチャーで共通の設定の変更とライセンスの管理を行うこともできます。ランチャーの一番右にあるアイコンを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

## 製品をアンインストールするにはどうすれば良いですか?

**F-Secure** インターネットセキュリティ/アンチウイルス **2013/2012/2011/2010** を **Windows XP** からアンインストールするには

1. **【スタート】** > **【コントロールパネル】** をクリックします。
2. **【プログラムの追加と削除】** をダブルクリックします。
3. 該当する **F-Secure** の製品を選択して **【変更と削除】** をクリックします。
4. 確認されたら、コンピュータを再起動します。

**F-Secure** インターネットセキュリティ/アンチウイルス **2013/2012/2011/2010** を **Windows Vista** からアンインストールするには

1. **【スタート】** > **【コントロールパネル】** をクリックします。
2. **【アンインストール】** をクリックします。
3. 該当する **F-Secure** の製品を選択して **【アンインストールと変更】** をクリックします。
4. 確認されたら、コンピュータを再起動します。

## **F-Secure** インターネットセキュリティ/アンチウイルス **2013/2012/2011/2010** を **Windows 7** からアンインストールするには

1. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** をクリックします。
2. **[プログラムと機能]** をクリックします。
3. 該当する **F-Secure** の製品を選択して **[アンインストールと変更]** をクリックします。
4. 確認されたら、コンピュータを再起動します。

## 申し込み・登録

### 評価版から正規ライセンス版にアップグレードできますか?

評価版を使用している場合、正規ライセンス版に簡単にアップグレードすることができます。

参考: 正規ライセンス版は

[http://www.f-secure.com/ja/web/home\\_jp/internet-security](http://www.f-secure.com/ja/web/home_jp/internet-security)

から購入できます。

ライセンス キーコードをお持ちの場合、キーコードを認証することで製品を利用できます。

新しいライセンスを認証するには

1. ランチャーの一番右にあるアイコンを右クリックします。
2. **[ライセンスを表示する]** を選択します。「マイライセンス」ウィンドウが表示されます。
3. **[ライセンスの認証]** をクリックします。
4. 新しいライセンス キーコードを入力して **[OK]** をクリックします。

「ライセンスの状況」画面で指定したライセンス キーコード/キャンペーンコードと有効期限が表示されるようになります。

## **F-Secure** アンチウイルスを **F-Secure** インターネットセキュリティにアップグレードするにはどうすれば良いですか?

**F-Secure** アンチウイルスを **F-Secure** インターネットセキュリティにアップグレードする場合、**F-Secure** インターネットセキュリティの最新版を購入し、**F-Secure** アンチウイルスの上にインストールしてください。

インストール中に **F-Secure** インターネットセキュリティのライセンスキーコードを入力します。

ライセンスキーコードが見つかりません。

### オンラインショップ

本製品をエフセキュアのオンラインショップから購入した場合、ライセンスキーコードは発注書の確認メールに表記されています。

### 店頭

本製品のパッケージ版を購入した場合、ライセンスキーコードはクイックインストールガイドの表紙に表記されています。

## 操作 - 設定の変更

### ファイアウォールはどうなったのですか?

旧バージョンに搭載されていたファイアウォールの機能性は廃止されました。新しいファイアウォールの設計で本製品の操作性は以前より簡単になりました。

本製品は **Windows** に統合されている **Windows Firewall** の基本的なファイアウォール機能 (受信するネットワークトラフィックのフィルタ、位置固有の設定、ホームグループのサポートなど) を使用します。これに加え、ファイアウォールの機能性を向上するために次のセキュリティ機能も装備されています。

- 脆弱性のあるファイルと危険なファイルのブロック。ダウンロードされるファイルはすべてスキャンされ、危険なファイルは自動的にブロックされます。
- 不審なアプリケーションに対するインターネットアクセスのブロック。ディープガードは安全性を確認できないアプリケーションの動作を監視します。動作の分析によって、ディープガードはネットワークのアクセスをブロック/拒否、またはユーザにアクセスの確認を行います。
- 悪意のあるソフトウェアによるブラウザ操作の防止。ディープガードは悪意のあるソフトウェアによる Web ブラウザの操作を検出して防止します。

## ファイアウォールの設定でアプリケーションを許可するにはどうすれば良いですか？

ファイアウォールを有効にすると、コンピュータのアクセスが制限されます。本製品は **Windows** ファイアウォールを使用してコンピュータを保護します。

**Windows** ファイアウォールの設定を変更するには

1. 「**Computer Security**」を開きます。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[設定]** をクリックします。  
参考: 設定を変更するには管理者権限が必要です。
3. **[コンピュータセキュリティ]** > **[ファイアウォール]** の順にクリックします。
4. **[Windows** ファイアウォールを変更する**]** をクリックします。  
参考: セキュリティ機能を無効にするには管理者の権限が必要です。

**Windows Firewall** の詳細については、**Microsoft Windows** の説明書を参照してください。

## ディープガードがブロックしたアプリケーションを許可するにはどうすれば良いですか？

ディープガードはまれに安全なアプリケーションの動作をブロックすることもあります。これは、アプリケーションがシステムを変更する可能性があり、危険性があると判断されることで起こります。また、ディープガードのポップアップが表示されたときに、ユーザがアプリケーションを誤ってブロックした可能性もあります。

ディープガードがブロックしたアプリケーションを許可するには

1. 「**Computer Security**」を開きます。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[ツール]** をクリックします。
3. **[アプリケーション]** をクリックします。「監視しているアプリケーション」リストが表示されます。
4. 許可するアプリケーションを探します。  
参考: 列のタイトルをクリックすると、リストをソースできます。たとえば、**[権限]** 列をクリックするとアプリケーションを許可/ブロックした順に並び替えられます。
5. **[権限]** 列にある **[許可]** を選択します。
6. **[閉じる]** をクリックします。

ディープガードがアプリケーションを許可します。

## 特定のファイルやフォルダをスキャンの対象から除外するにはどうすれば良いですか?

スキャンから特定のファイル/フォルダを除外することができます。除外リストに追加されたアイテムはスキャンされません。

参考: 除外リストは、リアルタイムスキャンとマニュアルスキャンでは別です。たとえば、リアルタイムスキャンから特定のファイルを除外した場合、マニュアルスキャンに対してそのファイルを除外していない限り、ファイルがマニュアルスキャンの対象となります。

特定のファイルやフォルダをスキャンの対象から除外するには

1. 「**Computer Security**」を開きます。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[設定]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します。
  - **[コンピュータセキュリティ]** > **[ウイルスとスパイウェアスキャン]** の順にクリックします。
  - **[その他の設定]** > **[マニュアルスキャン]** の順に選択します。

4. スキャンのリンクから【ファイルを除外する】をクリックします。
5. 除外するファイル/フォルダに応じて、次のいずれかを実行します。
  - ファイル/ドライブ/フォルダを除外するには、次の手順を実行します。
    1. 「オブジェクト」タブを選択します。
    2. 【オブジェクトを除外 (ファイル、フォルダ...)】チェックボックスを選択します。
    3. 【追加】をクリックします。
    4. ウイルス スキャンから除外するファイル/ドライブ/フォルダを選択します。  
参考: ドライブの中には、**CD** ドライブ、**DVD** ドライブなどのリムーバブルドライブやネットワーク ドライブもあります。ネットワーク ドライブと空のリムーバブルドライブは除外できません。
    5. 【OK】をクリックして「スキャン対象から除外」ウィンドウを閉じます。
  - 特定のファイルを除外するには
    1. 「ファイルの種類」タブをクリックします。
    2. 【次の拡張子のファイルはスキャンしない】を選択します。
    3. 【追加】ボタンの横にあるフィールドにスキャンから除外するファイルの拡張子を入力します。
    4. 【追加】をクリックします。
    5. 他の拡張子を除外する場合、手順 **3** と **4** を繰り返します。
    6. 【OK】をクリックして「スキャン対象から除外」ウィンドウを閉じます。

参考: 実行可能ファイルなど、一部のファイルはスキャンから除外できません。

## アプリケーションをスキャンから除外するにはどうすれば良いですか?

アプリケーションをスキャンから直接除外することはできません。スキャン中に除外したアプリケーションが除外リストに表示されます。

スパイウェア/リスクウェアとして識別したアプリケーションを安全と断定できる場合、そのアプリケーションをスキャンから除外することができます。ただし、ウイルスまたは悪質なソフトウェアのように動作しているアプリケーションは除外できません。

スキャンの対象から除外したアプリケーションを除外リストから削除することで、スキャンの対象に含むことができます。スキャンから除外したアプリケーションを表示するには

1. 「**Computer Security**」を開きます。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[設定]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します。
  - **[コンピュータセキュリティ]** > **[ウイルスとスパイウェア スキャン]** の順にクリックします。
  - **[その他の設定]** > **[マニュアルスキャン]** の順に選択します。
4. スキャンのリンクから **[ファイルを除外する]** をクリックします。
5. 「アプリケーション」タブでは、スキャンから除外したアプリケーションが表示されます。

## ネットワーク トラフィックをすべて一時的に許可することは可能ですか?

ファイアウォールを無効にすると、すべてのネットワーク トラフィックが許可されます。

**注意:** ファイアウォールを無効にした場合、コンピュータはネットワーク攻撃に対して無防備になります。特定のアプリケーションがインターネットに接続できない理由で動作しなくなった場合、ファイアウォールを無効にするよりファイアウォールの設定を変更してください。

ファイアウォールを有効/無効にするには

1. 「**Computer Security**」を開きます。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[ステータス]** をクリックします。
3. **[ページの設定を変更する]** をクリックします。  
参考: セキュリティ機能を無効にするには管理者の権限が必要です。
4. 該当するスライダをクリックしてファイアウォールを有効または有効にします。

## 危険なファイルのダウンロードを阻止するにはどうすれば良いですか?

危険なファイルのダウンロードを阻止することができます。

**Web** サイトの中には脆弱性や危険なファイルが含まれているものがあります。詳細なネットワーク保護を設定することでアプリケーションが危険なファイルをダウンロードすることを阻止できます。

すべてのアプリケーションに対して危険なファイルをブロックするには

1. 「**Computer Security**」を開きます。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[設定]** をクリックします。  
参考: 設定を変更するには管理者権限が必要です。
3. **[コンピュータ セキュリティ]** > **[ファイアウォール]** の順にクリックします。
4. **[危険なファイルのダウンロードを拒否する]** を選択します。  
参考: この設定はファイアウォールを無効にしても有効です。

## Web サイトの評価を非表示にするにはどうすれば良いですか?

安全性評価は **2** つの方法で無効にできます。

1. ランチャーを開いて **[Online Safety]** をクリックします。
2. **[ユーザ]** をクリックしてオンラインセーフティの機能を変更するユーザを選択します。
3. **[ブラウザ保護の設定]** リンクをクリックします。「ブラウザ保護の設定」ウィンドウが表示されます。
4. 「表示する **Web** サイトの評価」の下にあるチェック ボックスの項目を外して **[OK]** をクリックします。

## 操作 - スキャン

### ごみ箱にあるマルウェアを駆除するにはどうすれば良いですか?

**F-Secure** の製品がごみ箱の中に悪質なファイルを検出することがあります。ごみ箱にはユーザが削除したファイルが含まれています。ごみ箱は通常次のいずれかのフォルダになります。

- C:\\$RECYCLED
- C:\\$RECYCLER
- C:\\$RECYCLE.BIN

これらのフォルダの中にある感染フォルダを削除するにはごみ箱を空にする必要があります。

ごみ箱を空にするには

1. デスクトップにあるごみ箱をダブルクリックします。
2. **[ファイル]**メニューの**[ごみ箱を空にする]**を選択します。
3. **[OK]**をクリックします。

ごみ箱 (に該当するフォルダ) に含まれているファイルがすべて削除されます。

### 完全スキャンを 2 回実行しました。1 回目と比べ、2 回目のスキャンのほうが早く終わりました。コンピュータは完全にスキャンされたのですか?

完全スキャンは、コンピュータのすべてのハードドライブに対してスパイウェア、ウイルス、ルートキットなどの悪質なソフトウェアをスキャンします。初めて完全スキャンを行うときにはすべてのファイルがスキャンされるため時間がかかりますが、それ以降の完全スキャンでは変更されたファイルしかスキャンされないためスキャンにかかる時間が大幅に短くなります。

前回のスキャンから変更されていない圧縮ファイルは再度スキャンされません。たとえば、圧縮ファイルに **100** ファイル含まれているとしたら、前回のスキャンと比べ、**101** ファイルスキャンされないこととなります。

**Windows** のシステム ファイル、**Adobe Acrobat Reader**、**Microsoft Excel** など、信頼済みのベンダーによりデジタル署名がされているファイルもスキャンから除外されます。また、**F-Secure** の製品が使用しているファイルも変更されていない場合、スキャンされません。

また、マニュアルスキャンと比べ、スケジュールスキャンは管理者権限で実行されるため、より多くのファイルを検出できます。

## ハードドライブは毎日手動でスキャンするべきでしょうか?

通常、ハードディスクを手動でスキャンする必要はありません。ウイルスとスパイウェアスキャン機能はリアルタイムスキャンを含めているため、コンピュータはリアルタイムで保護されます。スケジュールスキャンを使用してウイルスを手動でスキャンすることもできます。

参考: マルウェアのスキャンには大量のリソースが使用されます。コンピュータのすべてのリソースを使用し、完了にはしばらく時間がかかります。そのため、スキャンをコンピュータの非使用時に実行されるように設定すると効率的です。

## スケジュールスキャンを設定する

コンピュータに対して定期的のスキャン、「スケジュールスキャン」を実行することができます。スケジュールスキャンを開始するには

1. 「**Computer Security**」を開きます。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[設定]** をクリックします。
3. **[その他の設定]** > **[スケジュールスキャン]** の順に選択します。
4. **[スケジュールスキャンスキャンを有効にする]** を選択します。
5. ウィルスとスパイウェアのスケジュールスキャンを実行する日にちを選択します。

## 6.

オプション	説明
日単位	スキャンを毎日実行します。
週単位	スキャンを指定した曜日に実行します。右側のリストからスキャンを実行する曜日を選択します。
月単位	スキャンを毎月の指定した日 (月 <b>3</b> 回まで指定可能) に実行します。スキャンを実行する日を選択します。  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[日]</b> オプションを <b>1</b> つ選択します。</li> <li>2. リストから日付を選択します。</li> <li>3. 別の日にもスキャンを実行するには、同じ操作を繰り返します。</li> </ol>

## 7. スキャンを実行する時間を指定します。

オプション	説明
開始時刻	スキャンを開始する時刻。コンピュータを使用する予定のない時刻を選択してください。
指定アイドル時間が経過した場合	コンピュータを触っていない時間がここで指定した時間に到達すると、スキャンが自動的に開始します。

8. **[OK]** をクリックします。

システム ボリュームの情報フォルダまたはシステム復元フォルダを駆除するにはどうすれば良いですか?

ウイルスがコンピュータに感染すると、ウイルスがシステムの復元フォルダにバックアップされる可能性があります。システムの復元は、**Windows** の機能です。

システム復元フォルダをスキャン/駆除するには、システム復元フォルダをまず無効にする必要があります。システムの復元を無効にすると、最新のシステム復元ポイントが失われます。システムの復元フォルダから感染を取り除くには、システムの復元機能を無効にするしかありません。感染を取り除いた後、システムの復元機能をもう一度有効にできます。

**Windows 7** でシステムの復元を無効にするには

1. 開いているプログラムをすべて閉じます。
2. **【マイ コンピュータ】** を右クリックして **【プロパティ】** を選択します。「コンピュータの基本的な情報の表示」ウィンドウが開きます。
3. **【システム保護】** をクリックします。「システムのプロパティ」ウィンドウが開きます。
4. 「システムの保護」タブをクリックします。
5. **【構成】** をクリックします。
6. **【システムの保護を無効にする】** を選択します。
7. **【適用】** をクリックします。
8. 確認されたら、**【はい】** をクリックします。
9. **【OK】** をクリックします。
10. **F-Secure** のセキュリティ製品を使用してすべてのハードディスクとファイルにウイルス スキャンを実行します。

スキャンが完了したら、**Windows 7** のシステム保護機能を有効にします。

1. **【マイ コンピュータ】** を右クリックして **【プロパティ】** を選択します。「コンピュータの基本的な情報の表示」ウィンドウが開きます。
2. **【システムの保護】** をクリックします。
3. 「システムの保護」タブをクリックします。
4. **【構成】** をクリックします。
5. **【システム設定とファイルの以前のバージョンを復元する】** を選択します。
6. **【適用】** をクリックします。
7. **【OK】** をクリックします。

**Windows XP** でシステムの復元を無効にするには

1. 開いているプログラムをすべて閉じます。
2. **【マイ コンピュータ】** を右クリックして **【プロパティ】** を選択します。「システムのプロパティ」ウィンドウが開きます。

3. 「システムの復元」タブをクリックします。
4. **[システムの復元を無効にする]**のチェックボックスをオンにします。
5. **[適用]**をクリックします。
6. 確認のウィンドウが表示されたら、**[はい]**をクリックします。
7. **[OK]**をクリックします。
8. **F-Secure**のセキュリティ製品を使用してすべてのハードディスクとファイルにウイルススキャンを実行します。

スキャンが完了したら、**Windows XP**のシステム保護機能を有効にします。

1. **[マイ コンピュータ]**を右クリックして**[プロパティ]**を選択します。「システムのプロパティ」ウィンドウが開きます。
2. 「システムの復元」タブをクリックします。
3. **[システムの復元を無効にする]**のチェックボックスをオフにします。
4. **[適用]**をクリックしてから**[OK]**をクリックします。

**Windows Vista**でシステムの復元を無効にするには

1. 開いているプログラムをすべて閉じます。
2. **[スタート]**をクリックします。
3. **[すべてのプログラム]->[メンテナンス]**の順に選択します。
4. **[メンテナンス]->[バックアップと復元センター]**の順に選択します。
5. **[復元ポイントの作成または設定の変更]**をクリックします。確認された場合、**[続行]**をクリックします。
6. 「利用できるディスク」で、各ドライブのチェックボックスをオフにします。
7. **[適用]**をクリックします。
8. 確認のウィンドウが表示されたら、**[システムの復元を無効にする]**をクリックします。
9. **[OK]**をクリックします。
10. コンピュータを再起動します。
11. **F-Secure**のセキュリティ製品を使用してすべてのハードディスクとファイルにウイルススキャンを実行します。

ファイルをスキャンおよび駆除した後にシステムの復元機能を有効にするには  
(**Windows Vista**の場合)

1. 開いているプログラムをすべて閉じます。
2. **[スタート]**をクリックします。

3. **[すべてのプログラム]-> [メンテナンス]**の順に選択します。
4. **[メンテナンス]-> [バックアップと復元センター]**の順に選択します。
5. **[復元ポイントの作成または設定の変更]**をクリックします。確認された場合、**[続行]**をクリックします。
6. 「利用できるディスク」で、各ドライブのチェックボックスをオフにします。
7. **[適用]**をクリックします。
8. 確認のウィンドウが表示されたら、**[システムの復元を有効にする]**をクリックします。
9. **[OK]**をクリックします。

## **F-Secure** にサンプルを提出するにはどうすれば良いですか?

**Sample Analysis System (SAS)** を使用して、オンライン時に遭遇した不審なものを弊社に送信できます。送信されたサンプルはすぐに解析し、必要に応じてデータベースを更新します。

参考: サンプルは、アカウントなしで匿名で送信できます。アカウントの登録は任意です。

- サンプルのフィードバックを入手
- 大量のサンプルを送信
- **URL** を送信

### サンプル送信に関連するタスク

弊社へのサンプル送信時に必要なタスクを実行するにあたり、以下の記事が参考になります。

- [ZIP アーカイブの作成とそのパスワード保護](#)
- [スキャンレポートをファイルに保存する](#)
- [スパムメッセージ、ハムメッセージ、フィッシングメッセージをファイルに保存する](#)
- [セキュリティソフトウェアが最新の更新を持っているかを確認する](#)

## アップデート

### パターンファイルが古いと表示されます。どうすれば良いですか？

パターンファイルは **7** 日過ぎた時点で「古い」とみなされます。ウイルスはすぐに変わるため、パターンファイルを常に最新の状態にすることが重要です。**F-Secure** はパターンファイルの更新を **1** 日に数回行うこともあります。

**1** 週間の中でコンピュータを使用していない場合、パターンファイルの最新アップデートが **30** 分以内に自動でインストールされます。

パターンファイルが「古い」と表示される場合、次の操作を実行してください。

- 1. F-Secure** ランチャーから「**F-Secure**」アイコンを右クリックして **[更新]** を選択します。
- 2. F-Secure** ランチャーから「**F-Secure**」アイコンを右クリックして **[ライセンスを表示する]** を選択します。「マイライセンス」ウィンドウからライセンスのステータスを確認できます。
- 3. Windows** の日付設定が正しいことを確認します。日付が間違っているとパターンファイルのステータスが正しく表示されないことがあります。日付と時刻は **Windows** のシステムトレイにある **[日付と時間]** のプロパティから設定できます。
- 4. fsaua-reset.exe** をダウンロードして実行します。  
( <ftp://ftp.f-secure.com/support/tools/FSAUA-Reset/fsaua-reset.exe> )  
コマンドプロンプトで **Y** を押します。

パターンファイルが更新されない場合、製品を再インストールすることを推奨します。

### 最新の更新を受信しているかどうかどうすれば確認できますか？

自動更新は **F-Secure** の製品をインストールした時点で有効になります。コンピュータがインターネットに接続しているときに **F-Secure** の製品が **2** 時間ごとに最新の更新を確認し、必要に応じて最新のパターンファイルをダウンロードします。

アップデートパッケージのダウンロードにかかる時間はインターネットの通信速度に応じて変わります。コンピュータを **1** 週間以上使用していない場合、アップデートパッケージ全体のダウンロードとインストールが行われるため、通常のアップデートより時間がかかります。

参考: ダウンロードを速めるために少なくとも **1** 週間に **1** 度はインターネットに接続することを推奨します。

## 最新の更新を確認する

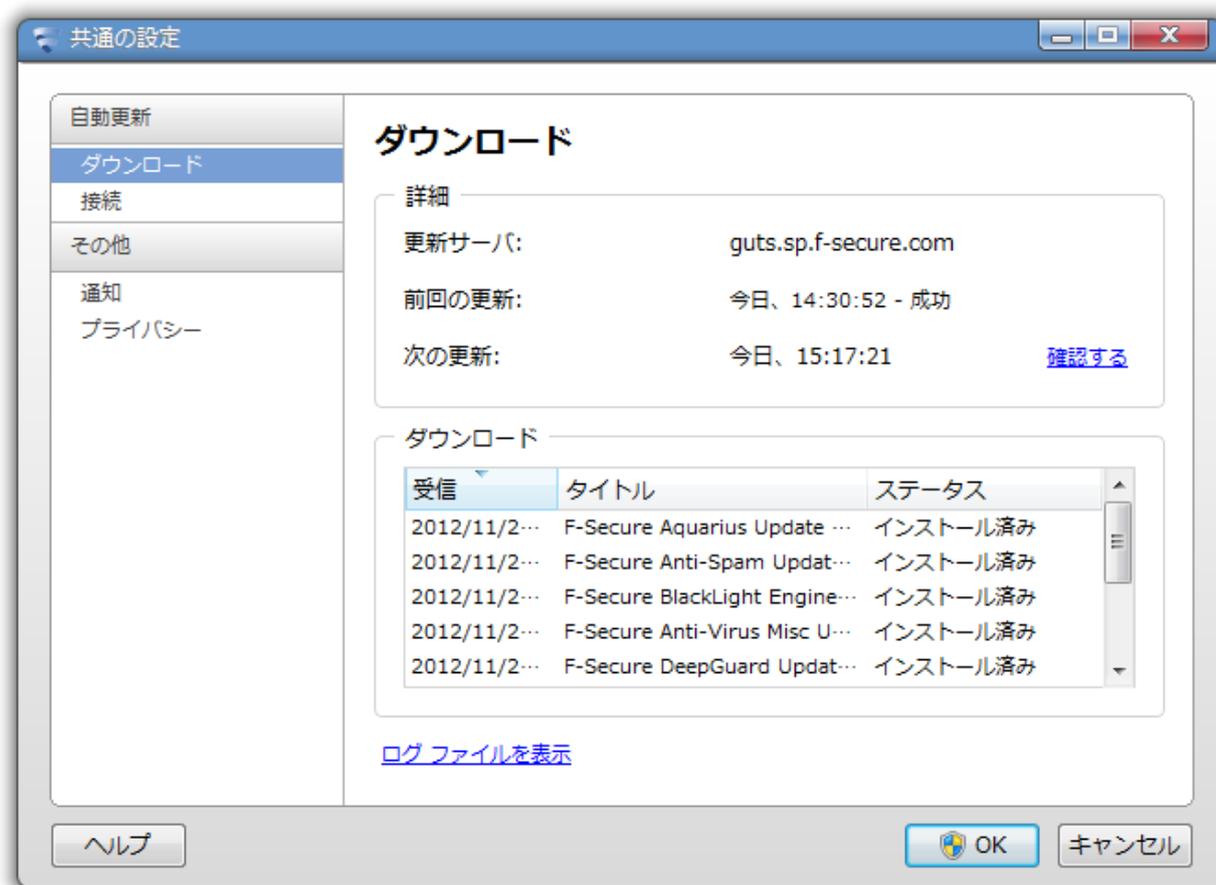
最新の更新を確認するには

1. ランチャーから **[Computer Security]** をクリックします。
2. **Computer Security** のユーザインターフェースで **[設定]** をクリックします。
3. 「データベースのバージョン」ページを表示するには、**[その他の設定]** ▶ **[データベースのバージョン]** の順に選択します。

バージョン番号が最も高いアップデートパッケージの日付とバージョンがページに表示されます。ここで表示されているアップデートパッケージが最新のパターンファイルであるとは限りません。

スキャンエンジンのバージョン情報を確認するには

1. ランチャーの一番右にあるアイコンを右クリックします。
2. **[共通の設定を開く]** を選択します。
3. **[自動更新]** ▶ **[ダウンロード]** の順にクリックします。



「ダウンロード」でエンジン名とバージョン情報を確認できます。

参考: ダイヤルアップまたは **ISDN** でインターネットに接続する場合、更新を確認するにはインターネットに接続している必要があります。

### 更新を手動で確認する

本製品は、インターネットに接続しているときに最新の更新を自動的に受信します。次の方法で最新の更新を手動で確認することもできます。

1. ランチャーの一番右にあるアイコンを右クリックします。
2. **【更新を確認】**を選択します。「更新を確認」ウィンドウが表示されます。

### 新しいアップデート

## PCの保護状態、また、自動更新が有効になっているかどうかどうすれば確認できますか?

「ステータス」画面では、インストールされている機能とそのステータスを確認できます。

【ステータス】ページを開くには、「**Computer Security**」のメインページにある【ステータス】をクリックします。

各機能の横にあるアイコンからプログラムのステータスと関連のコンポーネントを確認できます。

ステータスアイコン	ステータス名	説明
	OK	コンピュータが保護されています。機能が有効になっており、正常に動作していることを示します。
	情報	特定の機能で特別なステータスが発生していることを示します。特定の機能がアップデートされる時などにアイコンが表示されます。
	警告	コンピュータが完全に保護されていないことを示します。たとえば、パターンファイルがしばらく更新されていない場合や特定の機能に問題がある場合など。
	エラー	コンピュータが保護されていないことを示します。たとえば、ライセンスが切れた場合や重要な機能が無効の場合など
	無効	重要ではない機能が無効になっていることを示します。

## 詳細

### ランチャーとはなんですか?

**F-Secure** のネットワーク インストーラ (**F-SecureNetworkInstaller.exe**) をダウンロードし、製品をインストールしたら、ランチャーが画面の下に表示されます。



画面に表示されない場合、デスクトップにある **F-Secure** のアイコンからランチャーを起動できます。ランチャーから **F-Secure** 製品のアクセスとライセンスの管理を行うことができます。

ランチャーの共通の設定はランチャーに含まれているすべての **F-Secure** 製品に適用される設定です。共通の設定を変更することで各プログラムで設定を個別に変更する手間が省けます。

ランチャーを使用して次の共通の設定を変更できます。

- ダウンロード - ダウンロードした更新/アップデートを表示します。新しい更新があるか手動で確認することもできます。
- 接続 - コンピュータがインターネットに接続する方法を変更できます。
- 通知 - 発生した通知を確認できます。また、通知の設定を変更することもできます。
- プライバシー - ディープガード ネットワークの接続を許可するか選択できます。

参考: セキュリティのため、一部の設定を変更するには管理者権限が必要になります。

ランチャーからインストールされているプログラムのライセンスを管理するには

1. ランチャーの一番右にあるアイコンを右クリックします。
2. **[ライセンスを表示する]**を選択します。「マイライセンス」ウィンドウが表示されます。
3. 次のいずれかを実行します。
  - **[ライセンス]**をクリックすると、インストールされているプログラムのライセンスに関する情報を確認できます。
  - **[インストール]**をクリックすると、インストールできるプログラムを確認できます。

**F-Secure** ランチャーの詳細については次を参照してください。

1. ランチャーの一番右にあるアイコンを右クリックします。
2. **[ヘルプ]**を選択します。

## オンラインセーフティ (**Online Safety**) とはなんですか?

「オンラインセーフティ (**Online Safety**)」は、インターネットの安全性を高める機能です。悪質なソフトウェアや **Web** サイトに対する保護のみならず、特定のコンテンツが含まれている **Web** サイトに対するアクセスを制限することによりユーザーが望ましくない **Web** サイト/コンテンツにさらされることを防げます。また、ユーザーがインターネットにアクセスできる時間帯と時間数を制限することもできます。

本製品は **Windows** のユーザーアカウントを使用してユーザーのセキュリティ設定を制御します。**Windows** のユーザーアカウントに対するセキュリティ設定を変更するには管理者権限が必要です。

コンピュータを使用する各ユーザーに対して **Windows** のユーザーアカウントを設定することを推奨します。たとえば、親には管理者権限を設定し、子供/未成年のユーザーには通常の **Windows** ユーザーアカウントの権限を設定できます。

オンラインセーフティの詳細については次を参照してください。

1. **F-Secure** ランチャーの「**Online Safety**」アイコンを右クリックします。
2. **[ヘルプ]**を選択します。

## コンピュータセキュリティ (**Computer Security**) とはなんですか?

「コンピュータセキュリティ (**Computer Security**)」は、コンピュータをウイルス、ワーム、スパイウェアなどの悪質な攻撃から保護します。また、スパムとフィッシングのメールもブロックします。

**PC** を侵入者や不正なアクセスから守ります。

**Microsoft Windows 7** を使用している場合、モバイルブロードバンド利用時の不要な高額請求を回避する機能も利用できます。

参考: セキュリティのため、一部の設定を変更するには管理者権限が必要になります。

コンピュータセキュリティの詳細については次を参照してください。

1. **F-Secure** ランチャーの「**Computer Security**」アイコンを右クリックします。
2. **[ヘルプ]** を選択します。